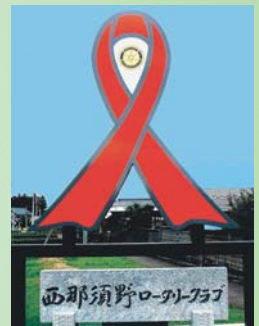


Service Above Self (超私の奉仕)
西那須野ロータリークラブ週報
Nishinasuno Rotary Club Weekly

・月井 美好 西那須野ロータリークラブ会長テーマ・
クラブ創立の原点を見つめ 前進しよう

第2463回(本年度第8回)2025. 9. 2



RIテーマ

よいことのために 手を取りあおう

"Unite for Good"

フランチェスコ・アレツォ RI会長



地区テーマ

ロータリーは
人をつくり 友情を育む

二十二 修 2550地区ガバナー



開会宣言・点鐘 会長 月井 美好さん
司 会 SAA 福本 光夫さん
ロータリーソング
お客様紹介 アジア学院事務局長
佐久間 郁様
アジア学院研究科生(19年度卒業生)
ジェレミヤ・ナルザリー様
米山奨学生

国際医療福祉大学 孫 皓程さん
文星芸術大学 王 詩晴さん



幹事報告

幹事 田原 直之さん

各会員さんへ

個人の引出しの中の確認、マイロータリーの登録、例会出席のシールは必ず各自責任を持って対応してください。

委員会報告

青少年委員長 益子 修さん

・10/18ですがアジア学院収穫祭がありますので
皆様ぜひご参加くださいませ。

理事会報告

議題1 9月の例会

9月2日 お客様紹介

(2463回) 会員誕生・配偶者誕生・結婚祝い

9月9日例会プログラム

- | | | |
|-------|--------------|-----------------|
| 12:30 | 開会宣言・点鐘 | 月井美好会長 |
| 12:31 | ロータリーソング | |
| 12:33 | お客様紹介 | 月井美好会長 |
| 12:34 | 会長の時間 | 月井美好会長 |
| 12:49 | 委員会報告 | |
| 12:50 | 幹事報告 | 田原直之幹事 |
| 12:55 | スマイルボックス報告 | |
| | | 大塚 久スマイルボックス委員長 |
| 12:57 | 出席報告 | 永山三芳出席委員長 |
| 12:58 | 閉会宣言点鐘 | 月井美好会長 |
| | | |
| 13:00 | クラブ協議会 | |
| | 議長 | 月井美好会長 |
| | 渡邊 渉ガバナー補佐訪問 | |

無断欠席は会費の無駄遣いです。無断欠席罰金 2,000円徴収。

SAA 郡司 義貴 (携帯 090-1667-3497)

FAX 0287-36-8536 TEL 0287-36-0239

会長 月井 美好 幹事 田原 直之
会報委員会 金田 道太・伊藤 悟・久保 世一
森 英夫

皆出席・在籍年数祝い
奨学金授与(孫君・王さん)
理事会報告
委員会報告
会長の時間
幹事報告

9月9日 お客様紹介
(2464回) 会長の時間
委員会報告
幹事報告

9月30日 お客様紹介
(2465回) 会長の時間
委員会報告
幹事報告
友の記事紹介

議題2 周年予算の一時立て替え使用
(地区大会準備、桃園周年)

周年通帳より一般会計に立替300万円

議題3 世界大会参加について

議題4 アジア学院収穫祭について
10/18日開催

議題5 10月7日ガバナー訪問の際の歓迎看板も
作成 立看板作成
横看板作成、現在の看板の上に貼り付ける

議題6 本人誕生日祝い商品について
星野親睦委員より
商品決定、男性はロータリーバッチ
女性はブローチ

議題7 国際医療福祉大学食糧支援について
予算10万円で実施予定

外 来 卓 話

アジア学院事務局長 佐久間 郁様

本日は例会にお招きいただき、ありがとうございました。地元で活躍されていらっしゃる社会の指導者である皆さまとの時間は私にとって貴重な時間となりました。

拙い卓話で恐縮ですが、原稿を送付いたします。長文ですので、どうぞご自由に削って頂いて結構です。

その他、何かございましたらご連絡ください。収穫感謝の日やその他の機会に皆さまとまたお会

いできることを楽しみにしています。

今後とも何卒よろしくお願い致します。

〈卓話内容〉

この度はこのような機会を頂き、心より感謝申し上げます。50数年前の創立当初からお世話になっております、西那須野ロータリークラブの例会でアジア学院の活動について話をさせて頂けることは何よりも光栄なことです。

アジア学院は、アジア・アフリカの農村指導者を養成する学校です。1973年に創立され、今年で53年目を迎えました。アジア学院の目指しているのは、「共に生きる」社会の実現を可能にする世界の農村リーダーの育成です。

創設メンバーの一人である高見敏弘は、「社会正義」とは「世界中の人が、ひとりの例外もなく、分かち合う喜びを感じながら豊かな食卓につけること」だと言います。

そのためには「共に生きる」社会の実現が必要です。そのような社会作りにはそれを導くリーダーが必要となります。西那須野ロータリークラブの皆様はまさにそのようなリーダーであると思います。アジア学院では「共に生きる」農村社会の実現を可能にする農村リーダーの育成を行っています。

今年は17か国29名の農村指導者たちが集まり、4月から研修が始まりました。それぞれの学生は送り出し団体から派遣されてきます。年齢は25歳から45歳を中心とする若い世代から中堅の指導者で、研修期間は4月から12月の9か月間です。

私たちの研修には3つの柱があります。

- 1) サーバント・リーダーシップ・人に仕える指導者
- 2) フードライフ 食べものと命を大切にする生活、持続可能な農業
- 3) 学びの共同体の形成

まず、一つ目が仕える指導者です。農村地域には様々な困難があります。農村の人々



が抱えている課題を外から誰かが来て、「これが解決方法だよ！」と解決してくれる。これは持続的な解決にはなりません。「自分たちが抱えている課題は何か？ 地域にある資源は何か？ 自分たちはどうしていききたいのか？」人々が主体になって考え、行動を起こしていく。人々と一緒に問題解決に取り組む、仕える指導者を育てたいと願っています。

研修の2つ目の柱はフードライフです。いのちと食べものは切り離すことができない。いのちと食べものは一つだとする概念です。アジア学院は、最新の技術ではなく、アジア・アフリカの農村地域に合った最適（適正）な技術を大切にしています。また、持続可能な農業の実践をしています。

自分たちが食べるものは自分たちで育てています。アジア学院では、約95%を自給自足しています。

研修の3つ目の柱は学びの共同体形成です。アジア学院の朝は6時半にラジオ体操をすることから始まります。円になって体操をしてお互いを確認し、その後掃除をします。国籍、文化、食べ物、価値観、習慣と様々な違いがありますから、日常生活の中で様々なハプニングが起こります。

9か月間の共同生活や研修の日々は気づきと変革の機会がたくさん隠れています。

最初は主張ばかりし、上から目線のリーダーが、これではいけないと気付く瞬間があります。いつも静かで聞かばかりだったおとなしいリーダーが、自分の意見をはっきりと述べ、立ち上がる瞬間があります。1か月や3か月の短期間ではこの変革は生まれません。多様なメンバーと9か月間共に生活をし研修を受けることで、お互いの声に耳を傾け、主体的に関わり、一緒に問題を解決していく方法を身に着けます。

アジア学院の職員は7か国30名、ボランティアは欧米やアジアの約5か国から通年約20名が集まってきます。若いボランティアの中には、ここでの生活が人生の大きな転機となる人、価値観が変化する人も少なくありません。

現在アジア学院の卒業生は63か国に1445名います。

今日は卒業生の一人で研究科生のジェレミヤさんを紹介したいと思います。「インド・アッサム州の出身です。プリシラセンターという団体で自然農法の指導をしています。アジア学院で2019年度に卒業し、今年度は研究科生として再度来日しました。神を愛し、隣人を愛し、土を愛するというその精神を土台に、日本の社会や人々、アジア学院から多くのことを学ばせて頂いています。」

学生たちの中には、直接もしくは間接的に戦争体験のある方が多くいます。

ルコゴさんは、長年内戦の続いているコンゴ民主共和国から来ました。

2025年に冬には武力抗争が激戦化し、武装グループが潜んでいる為、国内の移動ができず、査証の申請をするために、一度隣国ウガンダに出国し、飛行機でコンゴの首都に移動し、やっと査証の申請ができたと聞いています。

また、ミャンマーのタンウィンさんは、マンダレーの出身ですが、出国前には大きな地震を経験し、来日後は国軍の攻撃が村の近くで続き、家族の安否を心配する。そのような場面もありました。

日本、また多くの国々で戦後80年を迎えました。が、世界各地でまだ争いが絶えません。

アジア学院のモットーは、「共に生きるために」ですが、英語ではThat We May Live togetherです。We will 私たちは将来共に生きる。と断言されておらず、We May可能性として「共に生きられるかもしれない」もしくは、祈りを込めて「共に生きられるといいな」という表現が使われています。

共に生きる社会になるかどうかは、私たち次第だということです。誰かがもたらしてくれるのではなく、私であり、あなたの行動次第なのだと問われているのではないのでしょうか。

今日、食べものからの平和というテーマの夏の寄付キャンペーンのチラシとステッカーを配布させて頂きました。皆さまにとって、食べものとは

何なのかを考えて頂き、ステッカーに書いて頂き、後ほど写真を撮影ができた嬉しいです。

「世界中の人が、ひとりの例外もなく、分かち合う喜びを感じながら豊かな食卓につけること」そう提唱した高見敏弘の想いをこれからも受け継ぎ、命と食べものを大切にし、お互いの顔の見える、豊かな食卓を囲む場所として。

皆さまのお力添えを頂きながら、アジア・アフリカの農村地域の為に、また、日本をはじめとするこれからの世代の若者たちの変革の場としてこの活動を続けていきたいと考えています。

最後になりましたが、毎年西那須野ロータリークラブの皆様には地元の中学生と共に越し頂き、子供コーナーでご奉仕を頂いております。収穫感謝の日が今年も10月18日、19日と開催されます。開場時間は10時からとなっておりますが、開会礼拝がございますので、イベント開始は11時半から3時半となっております。

皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



理事会報告



皆出席・在籍年数祝



結婚記念祝



会員誕生日



配偶者誕生日

スマイルボックス報告

委員長 大塚 久さん

月井 美好会長①アジア学院の皆様ようこそ！

②米山奨学生の皆様ようこそ！

③家庭集会への参加お疲れ様でした。

富田 勸さん いつまでも暑いですね。アジア学院出席の方、よくいらっしゃいました。楽しんでいてください。

青山 吉博さん ようこそ！佐久間様、ジェレミヤ・ナルザリー様。

福本 光夫さん①アジア学院の皆様ようこそ。

②徳島眉山（びさん）RCにメークアップに行きました。

③欠席おわび。

小中 一成さん 9月6日花火を打ち上げます。太夫塚公園に遊びに来た下さい。

会員誕生日

星野 仁さん 永山三芳さん 森 英夫さん
伊藤 悟さん 太田 仁さん 小中一成さん
渡邊 渉さん 大和良輔さん

配偶者誕生日

渡邊 渉さん(晴子さん)
八木沢浩司さん(叔江さん)
森 英夫さん(順子さん)
関谷暢之さん(洋子さん)
永山三芳さん(浩子さん)

結婚記念日

寺崎貴志さん 久保世一さん 澤田次男さん

皆出席・在籍年数祝

関谷直人さん(52年) 梅村悟志さん(7年)

出席報告

出席委員長 永山三芳さん

9月2日 第2463回(本年度第8回) 会員数42名

出席	22名	前回8月26日	2462回例会
欠席	20名	欠席	20名
出席免除者	0名	M・U	名
出席率	52.38%	修正出席率	52.38%